**「がん医療」に関するアンケート**

◆調査の目的

　大阪府では第二期がん対策推進計画（平成25年度～平成29年度）を策定し、府民をがんから守り、健康な生活を送れる社会の実現をめざし、さまざまな取組みを実施している。しかしながら、府民のがんによる死亡率は全国に比して高く、また、がん検診受診率は全国最低水準で推移している状況にある。本調査では、内閣府実施の「がん対策に関する世論調査」を基にして、府民のがんやがん検診に対する意識や行動を把握し、第三期がん対策推進計画策定の資料とする。

◆サンプル割付け

　別添参照

◆予備質問　4問

SC１性別

SC２年齢

SC３都道府県

SC４市町村

◆本質質問　26問

1. あなたはがんについてどのような印象を持っていますか。次の中からあてはまるものを１つ選択してください。(SA)
2. こわいと思わない
3. どちらかといえばこわいと思わない
4. どちらかといえばこわいと思う
5. こわいと思う
6. わからない
7. 【Q1③④】あなたが、がんを怖いと思う理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(MA)
8. がんで死に至る場合があるから
9. がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから
10. がんが治っても、後遺症が残る場合があるから
11. がんの治療費が高額になる場合があるから
12. がんによっては仕事を長期間休むか、辞めざるをえない場合があるから
13. 治療を受けるのに適切な医療機関を見つけるのが大変な場合があるから
14. がんに対する治療や療養には、家族や親しい友人などに負担をかける場合があるから
15. その他（　）
16. わからない（排他）
17. がんについて、あなたの知っていることを、次の中からすべて選んでください。(MA)
18. 日本では、死亡者の約３人に１人が、がんで死亡している
19. 日本では、約２人に１人が、将来がんにかかると推測されている
20. 子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある
21. がんの治療方法には、大きく手術療法、化学療法、放射線療法がある
22. がん全体の５年生存率は５０％を超えている
23. 生活習慣（喫煙、食事、運動、飲酒）とがんとは関連性がある
24. たばこは、さまざまながんの原因の中で、予防可能な最大の原因である
25. 日本におけるがん検診の受診率は、欧米諸国と比較して低い
26. 大阪府民におけるがん検診受診率は、全国的にみて最低水準である
27. この中に知っているものはない（排他）
28. がんの検診は、胸や胃のレントゲン撮影やマンモグラフィなど、調べたい部位によって、それぞれ適切な方法を用いて行われています。あなたは、こういった「がん検診」を受けたことがありますか。以下のそれぞれについてお答えください。（表組）※以下子宮がん、乳がんは女性のみ表示

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| がん検診の種類 | ①１年以内に受診した | ②２年以内に受診した（①の場合を除く） | ③２年以上前に受診した | ④受診したことがない | ⑤わからない |
| 胃がん |  |  |  |  |  |
| 大腸がん |  |  |  |  |  |
| 肺がん |  |  |  |  |  |
| 子宮がん |  |  |  |  |  |
| 乳がん |  |  |  |  |  |

1. 【検診の種類についてはQ４①～③選択者のみ表示】あなたの受けたがん検診は、どこが実施したものですか。それぞれの検診について、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（表組）

（参考：検診の種類について）

・お住まいの市区町村のがん検診：市区町村から郵送等で案内があり、受診料は無料または補助があります

・職場のがん検診：実施している職場の多くでは、定期健康診断と併せて行われています

・個人のがん検診：人間ドックなど、個人で任意に医療機関に申し込むもので、全額自己負担です（健康保険組合等による助成制度がある場合があります）

※あくまで例示のため、自治体や職場によって異なる場合があります

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| がん検診の種類 | ①お住まいの市区町村におけるがん検診 | ②職場におけるがん検診 | ③職場以外の個人で受けるがん検診 | ④その他 | ⑤わからない |
| 胃がん |  |  |  |  |  |
| 大腸がん |  |  |  |  |  |
| 肺がん |  |  |  |  |  |
| 子宮がん |  |  |  |  |  |
| 乳がん |  |  |  |  |  |

1. 【Q4②③④】

あなたが、これまで、あるいは最近、がん検診を受けていない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（1つでも「1年以内に受診していないがん検診がある」人に伺っています）(MA)

1. がん検診そのものを知らないから
2. うっかり受診するのを忘れてしまっているから
3. 受診する時間がないから
4. 受診する場所が不便だから（近くに受診できる場所がないから）
5. 費用がかかるため、経済的に負担になるから
6. 健康状態に自信があり、必要性を感じないから
7. 検査に伴う苦痛に不安があるから
8. がんが心配な時は、その都度医療機関を受診すればよいと思うから
9. 他疾患で医療機関を受診した際に、気になるとこがあれば検査（血液・ＣＴ・レントゲン**等**）を受けるようにしているから
10. がんと診断されるのが怖いから
11. 恥ずかしいから
12. がん検診を受けても、見落としがあると思っているから
13. 2年に1度は検診を受診しているから
14. その他（　　　）
15. 特に理由はない・わからない（排他）
16. がん検診を受診した結果、精密検査が必要となった場合、あなたは精密検査を受診されますか。(SA)
17. 必ず受診する
18. おそらく受診する
19. おそらく受診しない
20. 受診しない
21. わからない
22. 【Ｑ７③④】精密検査を受診しない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(MA)
23. 自覚症状がないから
24. 以前受診して異常がなかったから
25. どこで受診していいかわからないから
26. うっかり受診するのを忘れてしまっているから
27. 受診する時間がないから
28. 受診する場所が不便だから（近くに受診できる場所がないから）
29. 費用がかかるため、経済的に負担になるから
30. 健康状態に自信があり、必要性を感じないから
31. 検査に伴う苦痛に不安があるから
32. 他疾患で医療機関を受診した際に、気になるとこがあれば検査（血液・ＣＴ・レントゲン**等**）を受けるようにしているから
33. がんと診断されるのが怖いから
34. 恥ずかしいから
35. 精密検査を受けても、見落としがあると思っているから
36. その他（　　　）
37. 特に理由はない・わからない（排他）
38. あなたは、普段、がんに関する情報をどのようにして入手していますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。
39. がん診療拠点病院（がんの治療を行うとともに、地域の医療機関との連携の中心となる役割があり、国や都道府県が指定を行っている病院）のがん相談支援センター
40. 病院・診療所の医師・看護師や上記以外の相談窓口
41. 保健所・保健センターの窓口
42. 図書館
43. 新聞・雑誌・書籍（図書館利用以外）
44. テレビ・ラジオ
45. 国・地方自治体・その関係機関のホームページや広報紙
46. 医療機関のホームページ
47. 国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」
48. インターネット（上記⑦～⑨以外）
49. ＳＮＳ（ツイッター、メールマガジン、Facebookなど）
50. 家族・友人・知人
51. その他（　　）
52. がんに関する情報を入手することはない（排他）
53. わからない（排他）
54. あなたは、がんと診断されたら、ご自身のがんの治療法や病院について、どこで情報を入手しようと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(MA)
55. がん診療拠点病院（がんの治療を行うとともに、地域の医療機関との連携の中心となる役割があり、国や都道府県が指定を行っている病院）のがん相談支援センター
56. 病院・診療所の医師・看護師や上記以外の相談窓口
57. 保健所・保健センターの窓口
58. 図書館
59. 新聞・雑誌・書籍（図書館利用以外）
60. テレビ・ラジオ
61. 国・地方自治体・その関係機関のホームページや広報紙
62. 医療機関のホームページ
63. 国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」
64. インターネット（上記⑦～⑨以外）
65. ＳＮＳ（ツイッター、メールマガジン、Facebookなど）
66. 家族・友人・知人
67. その他（　　）
68. 情報を入手しようと思わない（排他）
69. わからない（排他）
70. 【Ｑ10①】前問で情報入手方法として、「がん診療拠点病院のがん相談支援センター」を選択した人に伺います。あなたはその「がん相談支援センター」でどのようなことを聞きたいですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(MA)
71. 治療費・保険などの経済面について
72. 治療と仕事の両立について
73. がんの治療内容に関する一般的な情報について
74. 退院後の生活など健康上の注意点について
75. 他の専門的な医療機関の情報について
76. がんである家族のサポート方法について
77. その他（　　　）
78. わからない（排他）
79. あなたは、がんと診断されたら、治療を受ける病院を選ぶにあたり重視することは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選択してください。(MA)
80. がんの治療件数
81. 専門的な治療を提供する機器や施設の有無
82. 医師や看護師の技術の優秀さ
83. 他の医療機関との連携の状況
84. 医師や看護師の親切さ
85. がんに関する相談窓口の有無
86. 自宅からの距離
87. 受診にかかる経済的負担（交通費や差額ベッド代）
88. その他（　）
89. 特に重視するものはない（排他）
90. わからない（排他）
91. がん治療における緩和ケアとは、がんに伴う体と心の痛みを和らげることですが、あなたは、がん医療における緩和ケアについて知っていましたか。(SA)
92. 知っている
93. 言葉だけは知っている
94. 知らない
95. あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思っていますか。(SA)
96. がんと診断されたときから
97. がんの治療が始まったときから
98. がんが治る見込みがなくなったときから
99. その他（　　）
100. わからない
101. 医療用麻薬について伺います。

モルヒネ、オキシコドン、フェンタニルなどの「医療用麻薬」は、がんなどの激しい痛みの治療などに用いられる医薬品で、痛みを伝える神経に作用して痛みをやわらげます。医療用麻薬は、がん治療における最後の手段ではなく、がんの進行度に関わらず、痛みの程度に応じて使用することができます。

あなたは、医療用麻薬についてどのような印象を持っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(MA)

1. 正しく使用すれば安全だと思う
2. 正しく使用すればがんの痛みに効果的だと思う
3. 精神的におかしくなると思う
4. いったん使用し始めたらやめられなくなると思う
5. だんだん効かなくなると思う
6. がんの治療に悪い影響があると思う
7. 寿命を縮めると思う
8. 眠気や便秘などの副作用が強いと思う
9. 最後の手段だと思う
10. 使用することは道徳に反することだと思う
11. 「麻薬」という言葉が含まれていて怖いと思う
12. その他（　　）
13. 特にない・わからない（排他）
14. もし、がんのために痛みが生じ、医師から医療用麻薬の使用を提案された場合、あなたは医療用麻薬を使用したいと思いますか。(SA)
15. 使いたい
16. どちらかといえば使いたい
17. どちらかといえば使いたくない
18. 使いたくない
19. わからない
20. あなた自身が、がんと診断されたら、家族や友人などの身近な人に話せると思いますか。次の中から話せると思う人をすべてあげてくだい。(MA)
21. 配偶者・パートナー
22. 親・きょうだい・子どもなど身内の人
23. 上司・同僚など職場関係の人
24. 友人など身近な人（上記①～③以外）
25. 誰にも話せない（排他）
26. わからない（排他）
27. お仕事をされている方に伺います。あなたの職場では、がんの治療や検査のために２週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働き続けられる環境だと思いますか。(SA)
28. そう思う
29. どちらかといえばそう思う
30. どちらかといえばそう思わない
31. そう思わない
32. わからない
33. 仕事をしていない
34. 【Q18③④】がんの治療や検査のために２週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働き続けることを難しくさせている最も大きな理由は何だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選択してください。(SA)
35. 代わりに仕事をする人がいない、またはいても頼みにくいから
36. 職場が休むことを許してくれるかどうかわからないから
37. 休むと職場での評価が下がるから
38. 休むと収入が減ってしまうから
39. がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから
40. がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難だから
41. その他（　　）
42. 特にない・わからない
43. 行政の対策について伺います。あなたは、がん対策として、大阪府にどういったことに力を入れてほしいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(MA)
44. がん医療に関わる医療機関の整理（拠点病院の充実など）
45. 緩和ケア
46. がんに関する情報の提供
47. がんに関する相談やその支援
48. がん登録
49. がんの予防（たばこ対策などの生活習慣病対策も含む）
50. がんの早期発見（がん検診）
51. 希少がん対策（小児がんを含む）
52. 子どもに対する、がんに関する教育
53. がんによって就労が困難になった際の相談・支援体制の整備
54. その他（　　）
55. 特にない・わからない（排他）

大阪府では、府民に高度ながん医療を提供するため、国が指定するがん診療連携拠点病院（がんの治療、地域のがん診療の連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援及び情報提供をしている病院）に加え、同等の機能を有する４６施設をがん診療拠点病院として独自に指定しています。

あなたは、これらの国や大阪府におけるがん診療拠点病院制度をご存じでしたか。(SA)

　※このアンケートで初めて聞いた方は「③知らない」を選択してください。

1. 知っている
2. 言葉だけは知っている
3. 知らない
4. あなた自身も含め、ご家族や親族など身近な人で、がんにかかった方はいらっしゃいますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(MA)
5. あなた自身
6. 配偶者・パートナー
7. 親・きょうだい・子ども
8. 上記以外の親族
9. 親しい友人や同僚
10. 身近にはいない（排他）
11. わからない(排他)
12. あなたの就業形態を教えてください。（主なものを１つ）(SA)
13. 会社役員
14. 正社員
15. 契約社員・派遣社員
16. 公務員・団体職員
17. パート
18. アルバイト・フリーター
19. 自営業・自由業
20. 家内労働者・在宅ワーカー
21. 専業主婦（夫）
22. 無職
23. 学生
24. その他
25. 【前問①～⑥】あなたの勤務形態について、次の中から最もあてはまるものを１つ選んでください。(SA)
26. 平日勤務中心で、休日は主に土・日・祝
27. 勤務日時はシフト制で夜間勤務がない
28. 勤務日時はシフト制で夜間勤務がある
29. 勤務日時は決まっていない
30. その他（　　　）
31. 【Ｑ23①~⑧・⑫】あなたの職業の業種を教えてください。（主なものを1つ）(SA)
32. 漁業
33. 農業・林業
34. 建設業
35. 製造業
36. 電気・ガス・熱供給・水道業
37. 情報通信業
38. 運輸業、郵便業
39. 卸売業、小売業
40. 金融業、保険業
41. 不動産業、物品賃貸業
42. 学術研究、専門・技術サービス業
43. 宿泊業、飲食サービス業
44. 生活関連サービス業、娯楽業
45. 教育、学習支援業
46. 医療、福祉
47. その他のサービス業
48. 公務（上記にいずれかにあてはまるもの以外）
49. その他
50. あなたが加入している健康保険（保険証の種類）について教えてください。（健康保険証の保険者欄等に記載されていますので、不明な方は保険証をご確認ください。）(SA)
51. 市町村国保（国民健康保険）
52. 国保組合（国民健康保険組合）
53. 協会けんぽ（全国健康保険協会）
54. 健康保険組合
55. 共済組合
56. 船員保険
57. その他（　　）
58. わからない